



みどりを守り、育てる
地域連携でみどりの保全・創出に取り組んでいます



区民と協働して育む、 区立瀬田農業公園（フラワーランド）& 分園（せたのう）

フラワーランド[瀬田5-30-1]で開催している花づくり教室は、種まきから苗の育成・花壇管理・土づくりなど、園芸の基礎から応用までを学ぶ2年間の講座です。6月からは園内鑑賞花壇の秋の植替えに向けて、デザインと花の育苗に取り組んでいます。皆で考えて作った花壇を、ぜひご覧ください。

また、“せたのう”[瀬田5-11]では、3月に拡張工事が完了し、畑が拡張され、新たに遊具のある広場ができました。“区民と協働して運営する農業公園”を目指し、来年度からのボランティア活動の実践に向け、野菜づくり講習会は新たに2年目コースが誕生。受講者は毎週畑での実習に励んでいます。そして、新たな取り組みとして、世田谷区社会福祉協議会と連携し、畑でとれた野菜を区内の子ども食堂に提供する取り組みを開始しています。



せたのうではブロッコリーの育苗に挑戦しました

誕生！「下馬・いのちがめぐる小さな森」

まちに潤いを与えてくれる個人宅の庭などを期間限定で公開（オープンガーデン）して、民有地のみどりの大切さを、多くの方々と共有する「小さな森制度」。

4月には新たに「下馬・いのちがめぐる小さな森」が登録されました。お父様の代から受け継いだバラや様々な季節の草花、小さな生きものたち、そして土の中の環境も大切にしてお庭です。5月には各小さな森オーナーやボランティアの方々が見学に集まり、庭の楽しさや苦労などの話に花を咲かせ、区内各地の小さな森の「点」の活動が「線」に繋がる機会になりました。

小さな森登録地は現在17カ所。今後も個性豊かな各小さな森での、みどりを通じたコミュニティを創出していきます。



新緑の中、登録プレート贈呈を行いました！
（左：小さな森オーナー、右：財団理事長）



本誌についてのご意見、ご感想をお聞かせください！

WEBアンケートにご回答いただいた方に、
もれなく「世田谷の近代建築 発見ガイド」をプレゼント！
より魅力のある情報を発信するため、ぜひご協力をお願いします。

回答期限：2023年11月30日（木）



WEBアンケートは
こちらから



一般財団法人 世田谷トラストまちづくり
SETAGAYA TRUST & COMMUNITY DESIGN

2023年9月発行
〒156-0043 世田谷区松原6-3-5
Tel 03-6379-4300（代表）
Fax 03-6379-4233



SNSで、イベントの様子や、
最新情報が見られます！



フェイスブック▶



X(ツイッター)▶



イン스타그램▶



トラまち TOPICS 2023 1月～6月

一般財団法人 世田谷トラストまちづくり は

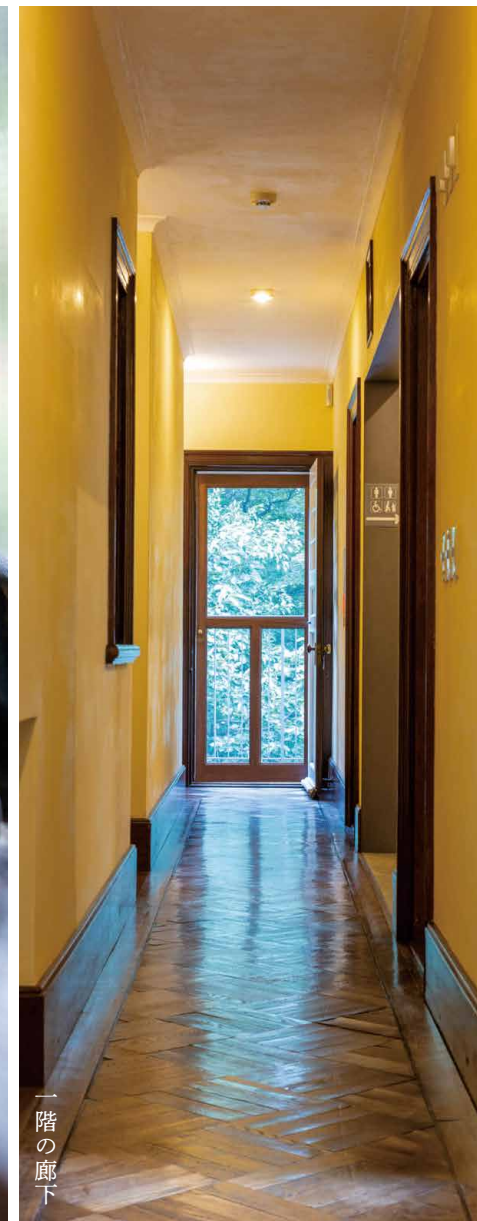
「ひと・まち・自然」が共生する世田谷

の実現をすすめています。

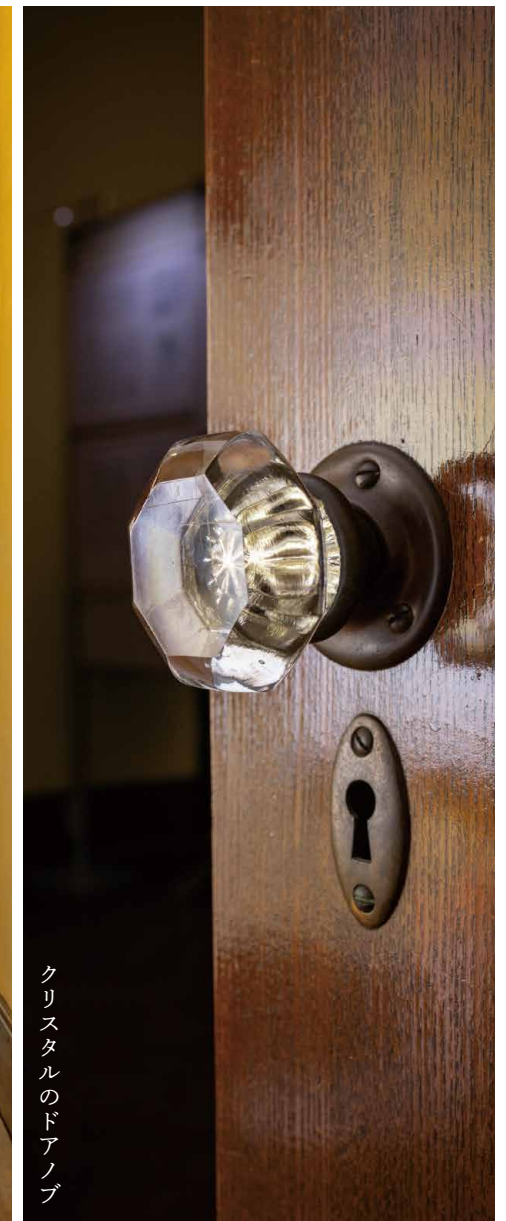
財団の取り組みや成果など、
ホットな話題をご紹介します



上げ下げ窓の鍵



一階の廊下



クリスタルのドアノブ

世田谷区指定有形文化財の旧山田邸。みどり豊かな環境の中の瀟洒な洋館で、成城みつ池緑地を間近に眺めることができます。3月、休止していたカフェコーナーを再開しました。昭和初期に建てられた洋館で、レトロな気分を味わってみてはいかがでしょうか。



旧山田邸（旧山田家住宅）[成城4-20-25]

開園時間：午前9時30分～午後4時30分（入場無料）

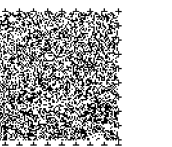
※カフェ時間は12時30分～午後3時（L.O. 午後2時30分）

休園日：毎週月曜日（但し、月曜が祝日の場合は次の平日）と
年末年始（12月29日～1月3日）

交通：小田急線「成城学園前」駅下車 徒歩7分

財団では、こうした貴重な歴史的文化的遺産や自然環境を後世へと引き継いでいくとともに、その保全や活用に向けた取り組みを行っています。

旧山田邸は
こちら▶



身近な自然を知る

世田谷の環境からの学びを大切にしています

「三宿の森緑地で、身近な自然と保全の取り組みを学ぼう！」をサポートしました

三宿小学校4年生の先生から“身近な自然と保全の取り組みを学びたい”とご相談が。5月、学校に近い三宿の森緑地[三宿2-27-27]で活動する「三宿の森を育てる会」の方を講師に、4つのテーマ、三宿の森の「成り立ち」「生きもの」「防災」「植物」について、4年生全員が現地でお話を伺い、緑地について学びました。

財団では野鳥観察や里山体験など、一緒に活動するボランティアの方々と共に、小学校の自然体験などの学習を支援しています。



地域の人や、自然と触れ合う意願の現地開催時間が経つのがあっという間でした

地域共生のいえ「ふくふくのいえ」で、雨庭のオープンガーデン

あめにわ
雨庭は、屋根などに降った雨水を一時的に貯留し、ゆっくりと地面へ浸透させる庭(植栽帯を含む)で、都市における雨水の流出抑制の手段の一つとして注目されています。財団では、ガーデニングの延長線上で、DIY感覚で取り組める「自分でもできる雨庭づくり」を推進しています。そのモデルとして「ふくふくのいえ[喜多見9-14-15]」に、宿根草を中心とした生物多様性豊かな雨庭を「NPO雨水まちづくりサポート」と協働で制作し、6月にお披露目会を開催しました。



写真左：雨桶から甕(かめ)を経由し、雨水は植栽帯へと浸み込む
写真右：水を流すと、土中の仕組みが見える模型に興味津々！

2023年10月から開始する「世田谷グリーンインフラ学校」では、雨庭づくりを学び、実践することができます。詳しくはこちら



「街の木でどこまでできる？遊べる？つくれる？ナラ枯れの木も活かそう大作戦！」

樹木を手入れする中で発生する剪定枝。それらを暮らしの中で楽しく活用することで、地域循環を目指すイベントを3月に、竹山緑地[喜多見5-21遊び場内]で開催しました。

「(一社)街の木ものづくりネットワーク」と共に、「モルック」の道具を手作りし、みんなで対戦しました。初めてのモルック体験に、大人も子どもも大盛り上がり。その後、次大夫堀公園民家園[喜多見5-27-14]に移動し、菌によって枯れてしまったどんぐりの木(ナラ枯れ)の薪割り見学や、かまどへの火入れなど、昔の暮らしを体験。自分がやってみたい“まちの木を活かす作戦会議”では、風呂桶を作るなど、面白いアイデアが次々に飛び出しました。今後も木の恵みを楽しく活かす取り組みを進めていきます。



樹木によって違う木肌の風合い「どれにしようかなあ〜」



地面に置いた木製のピンを倒す
北欧的当てスポーツ「モルック」



財団の取り組みについて、ご希望の方にパンフレット類をお送りいたします。

お申込みは
こちらから



地域のコミュニティを広げ、共に助け合う

ひとの力を結んで広げる、地域共生まちづくりをすすめています

地域共生のいえ「らくらくハウス」の 応援の輪が広がっています

コロナ禍で食材配布を続けていた「らくらくハウス[玉川1-8-2]」が会食形式の「まぜっこ食堂(子ども食堂)」を再開しました。開催日には70名ほどが集まる大賑わい。女優の有馬稲子さんからは毎月寄附をいただいております、安定的に運営できるようになりました。有馬さんは子どもへの支援を考えていたところ、らくらくハウスを知り、寄附を決めたそうです。この場をお借りして御礼申し上げます。ところで、「ファミマフードドライブ」をご存知ですか。家庭で余った食材を回収ボックスで集め、地域で食の活動をしている団体が受け取る仕組みです。「らくらくハウス」のために「ファミマ!! 二子玉川店」と「ファミリーマート上野毛駅前店」に回収ボックスが設置されました。個人だけでなく企業からの応援も広がっています。



イラスト：瓢斎(小塚秀忠)

居場所カフェ コモリナが開設しました！

「空き家等地域貢献活用相談窓口」を通して“ひきこもりのための居場所”が開設しました。ひきこもり当事者・家族のほか、生きづらさを抱えた方、支援者の方も通えるコミュニティカフェを目指し、ひきこもり居場所カフェ in 下北沢が運営しています。



空き家等地域貢献活用相談窓口とは▶

世田谷区内にある空き家等(空き家・空室・空き部屋)を地域資源と捉え、その活用などについての相談窓口業務を区から受託しています。



第32回公益信託 世田谷まちづくりファンド 公開審査会を開催しました(5・6月)



公開審査会の様子

区民主体のまちづくり活動への助成審査を「公開型」で行うのが特徴的なまちづくりファンド。今年度は34団体への助成が決定しました。つながりラボ部門の「(一社)おやまちプロジェクト」は、“つながりが先、やることは後”をコンセプトに、尾山台を中心に様々な人のつながりから、学生主体のカフェ、子ども食堂、暮らしの保健室などの活動を展開しています。そのほかにもまちづくりファンドでは、子育て、小学生の体験機会の創出、防災、ひきこもり・多世代の居場所づくりなど多様な活動への助成を行っています。

2024年1月からは、30年以上続く本事業を中心に世田谷のまちづくりの歩みを総覧する展覧会「世田谷のまちと暮らしのチカラ」を生活工房(キャロットタワー内)【太子堂4-1-1】で開催します。ぜひ足をお運びください。

展覧会ページ(生活工房サイト内)はこちらへ▶



ぜひ、世田谷のみどり保全&まちづくり活動のサポーターになってください！



トラストまちづくり
会員募集中です

世田谷の「ひと・まち・自然」を支える応援団に、あなたもぜひ！
“トラストまちづくり会員”や“ボランティア”として、ライフスタイルに合ったご支援、お願いいたします！

